

冬を楽しもう

昨日、一昨日は比較的あたたかでした。でも、今週は寒い日が続くようです。「本格的な冬だなあ。」と感じる日もあるかもしれません。

暦の上では、一番寒い季節を過ぎ、春が近づいています。一番寒い時期は「大寒」です。今年の大寒は1月20日でした。この大寒の時期が過ぎ、1月20日から「立春」の2月3日までの15日間ぐらいが1年間で一番寒い時期と言われています。今日は、2月8日。立春も過ぎ、一歩ずつ春が近づいています。

冬の寒い日は、地面に「霜柱」が現れる時があります。校庭のどこかに、この霜柱が現れるかもしれません。代々木山谷小学校の校庭は人工芝なので、霜柱が現れることはなかなかありません。でも、土の部分には、ひよっとしたら霜柱が現れているかもしれません。

冬の朝に土から現れる霜柱ですが、なぜ、窓にできるような普通の霜と違って、柱の形になるのでしょうか。

霜柱は、空気の温度が下がり、土の表面で水が凍るところから始まります。そして、外よりも土の中は暖かいので、土の中の水がじわじわと表面へ移動してきて、上の氷を押し上げながら凍って、柱のような形を作っていくのだそうです。

晴れている雲のない夜は冷え込みやすく霜柱ができやすいので、「霜柱が立つ日は天気がよい」と言うのです。

また、霜柱が立つ日のような寒い季節に咲く花に「水仙」があります。見たことありますか？花の形や色が頭に浮かびますか？水仙は、霜柱の中に咲き、雪にまみれ、寒い風を受けて、それでもすがすがしく、いい香りを漂わせながら咲くのです。その姿は、何気なく語りかけてくれるようで、世間を離れた仙人のようなので、水仙という名があるのだそうです。

寒い寒いこの季節。霜柱や水仙の花を見つけて、季節を楽しんでください。